

05. 松田 あさこ 麻子さん

就業のきっかけ

子どもの頃から外遊びが好きで、大学はアウトドアライフ専攻に進みました。この時に東日本大震災に遭った福島県の子どもたちをむかわ町に迎える「ふくしまキッズ」に関わり、卒業後はむかわ町の地域おこし協力隊を3年務めました。

協力隊では道外高校生の農作業体験と民泊をコーディネートしましたが、冬は割と時間に余裕があり、そんな時にむかわの「夏は農業、冬は林業」の林業の部分も面白いと思うようになりました。

かつてこの地域で行われていた馬そりや馬搬、昔の山道具の資料を見たり、丸太を川に流して苫小牧まで送っていた歴史を知るうちにもっと林業に関わってみたいと思ったのがこの道に進むきっかけです。

協力隊の後には岐阜県立森林文化アカデミーに進み、卒業後、むかわ町に戻り森林組合に就職しました。

仕事のやりがい

管理の仕事は森林組合全体の仕事の流れがわかりますし、丸太の数量や金額といった具体的な数字が見えるのも面白いです。また、森林所有者に木の売上げを還元することで再度植林してもらい、下刈りなどの保育、間伐をくり返して育てていくといった「経営」に関わっている実感があり、やりがいを感じます。当組合は工場を持っており、山の木が丸太になり製材され流通していく、林業としての一連の工程が見られます。

木育は植樹や木を使った工作・遊びを通して子どもから大人まで様々な方と交流でき、例えば積み木遊び一つとっても、遊び方次第で様々な発想や驚きを共有できるのが面白いですね。



【植樹祭で植え付けのお手伝いをする】

仕事の大変なところ

経理はお金を扱う部署です。林業は大きなお金が動きますし、帳簿の打ち込みなど間違えられないというプレッシャーがあります。組織を支える裏方の仕事は大変だなあと感じます。

木育は、参加者にどんな風に楽しんでもらうかというアイデアに苦労します。それがやりがいでもあります。



苫小牧広域森林組合

〒054-0211
むかわ町穂別433番地

森林整備、林産・販売、加工事業

年齢 27歳
勤続年数 3年

仕事内容

管理係として、伝票の入力や丸太の集計など経理業務が大半で、自分が山に行くことはほとんどありません。

当組合は社会貢献として「木育※」を掲げており、植樹祭やイベントで森林の大切さを知ってもらうためのブースを設けることもあります。

※木育…2004年に北海道で生まれた言葉。子どもをはじめとするすべての人が「木とふれあい、木に学び、木と生きる」取組。



【伝票の整理などデスクワークが多い】

胆振の魅力

山・川・海と自然が豊かでおいしい食べ物もあり、新千歳空港や苫小牧の港など本州とのアクセスも良いところです。田舎は不便ですが、不便な所も楽しいですし、たまに都会（札幌や苫小牧）に買い物に出るくらいが私にはちょうど良いです。

むかわ特産の穂別メロンを半玉一気に食べるのは最高の贅沢ですよ（笑）。

林業に興味を持っている方へメッセージ

経理や事務仕事は裏方的な存在ですが、所有者の山林を預かり、管理していく森林組合の大事な仕事の一つだと思います。

植えてから40年はかかる森林の経営を、お金という具体的な数字で見とれるのは面白い仕事です。

何より「木」は山に立っている時も、加工されて木材になっても、暮らしに生かされそして豊かにしてくれる存在です。